

広報モニターの声

今号より新しい 10 名のみなさんに広報モニターをお願いすることになりました。みなさんから寄せられた議会だより誌面や議会に対するご意見を参考に、より親しみやすい議会だより、また議会になるよう努力してまいります。

議会だより 153 号（前号）誌面に対するご意見・ご感想

- 村会議員さんのそれぞれのプロフィールを順に掲載して頂きたい。記載してほしい項目として、それぞれの方の人柄や価値観がわかるような、例えば①今まで何をされてきたのか（職業）②愛読書 ③座右の銘 ④最近感銘を受けたこと ⑤尊敬する人 ⑥今 1 番大事にしていること等を記載していただければ、村民からの親近感が湧き、もっと身近に感じると思います。
- 議会で村会議員が質問・提案されている内容について、どの位の費用がかかるかについての記載があれば（費用算出可能な概算で良い）、村民がその提案についての理解をさらに深めるのでは、と思います（例えば、地域マッチング仕組みづくり、ベンチの設置、女性の防災備蓄品、農業機械の補助制度、環境美化の花壇整備等など）。
- 今までどおりに一般質問の内容と返答を細かく掲載していただけるとうれしいです。
- P7 議会基本条例の検証結果について：評価をされる方が、議員とのことですが、議員と併せて、第三者による評価を加えた方がより客観的になるのではないかと思います。いかがでしょうか？ またそれぞれの項目について、評価の具体的基準となるものが、村民の方々に提示されるとより良いかと思います。
- 各議員の活動を知りたいです。それぞれの議員が、どんな取り組みをしているのか、しようとしているのかを、村民に知らせるような試面があれば良いと思います。
- 簡潔にまとめられているので読みやすい。
- 議会で取り上げられた議案などが一覧になっていて、理解しやすいです。一般質問の質問・答弁は質問者が原稿を作成されているということですが、答弁については原稿の内容を答弁者に確認などされるのかなと素朴な疑問です。150 号に掲載された記念座談会は良い記事だと思いました。当事者の方しか語れないお話で興味深かったです。対談や座談も定期的に記事化されると良いと思いました。
- 表紙の中学生の皆さんの写真は明るく躍動感が感じられます。
- 各議員の皆さんのページの QR コードでは実際の様子が視聴できて良いと思います。高齢者向けに使い方の説明があればと思いますが。
- 有線放送での議会放送の日程も記載したらいかがでしょうか。
- 三澤澄子議員の一般質問の中で職員の退職の問題が出ていましたが、必要な人材が流出しているのは心配です。差しさわりが無ければ経緯を知りたいものですが・・・。
- 議会だよりは情報がたくさんあり、読みこなせない。文言だけではわかりづらい、日常的文章とは違い、なじみにくくてわかりづらいなあ～と感じました。このような機会がなければ、多分読まずに写真だけ見ておしまいになっていました。
- 記事の中で、その後どうなったかを知りたいなあ～と思うものもあります。例えば、P5 “地域公共交通の今後のあり方”について・・・とても興味深い、その後どうなっていくのかな？

P11 “ひと休みできる環境づくりとしてベンチを設置” …ひと休みには、何が必要？

P15 “こども館の活用について” …こども館って何だろうと思っていたので、わかりやすい写真もあってよかった。その後どうなるのかな？

「協議を重ね検討していく」「真剣に議論することが求められている」という記事や、一般質問答弁のその後についてどうなったかを、全部でなくてよいので住民生活に身近なものを、その後を追ってわかりやすい記事があれば！ 例えば ▼▼の問題があり▼▼が原因だった。〇〇の解決案。予算が付いて実施◎◎となった(数字などデータでわかりやすく)といった感じの記事があればいいなあ～。

議会に対するご意見

- 行政の活動について、基本計画や実施計画に対して、今どのような進捗状況なのかが解るような指標(半期毎・数値が望ましい)を示して頂ければ、行政に対しての信頼が深まると思う(村会が行政のチェック機能という意味からの要請)。
- 議員の質問の中で、増税ではなく、税収が増えるような提案がもっとあっても良いのでは、と思います(例えばふるさと納税等)。
- 議員が、村民、村土、施設、各種運営に広くかかわっておられる様子がうかがえました。日頃の議員活動に心から感謝申し上げます。今後さらに議員が、村の現状をより良く知ることができるように、村民の声を聴く会といった機会以外にも、議員に直接声を届けられるような、電話窓口、議員の各区の視察などを加えていただけると、より本音を吸収できるのではないかと思います。
- 目的が曖昧に感じる問が見受けられます。
- 南箕輪村は日本でも(世界規模で調査しても)稀な持続可能な村なので、乳幼児、児童、子育て支援については力を入れて議員たちも質問をよくされていると思いました。一方で高齢者や障がい者対策について、実際に独居高齢者や老老介護世帯についてのフォローがどのくらい充実しているか？地区によって縁側サロンやげんきアップもかなり温度差があるようです。デジタル化推進にあたってはスマホ指導支援員の確保は必須です。後期高齢者はQRコードやネットをすぐに自分では使いこなせません。また、繰り返していけない説明ができる集落支援員は必要だと思います。
- 防災について、当村は近年の他地域で起きている大震災級の災害を経験した事がないので、幼児のいる世帯目線、女性目線や要支援者、障がい者目線での準備や想定も必要だと思います。定期的な備品チェックや訓練も必要だと感じました。
- 中学生議会や若者議会など、将来を担う世代が、村のことに関心を寄せる取り組みなどされていて良いと思います。
- 大芝の湯、大芝高原内の改修が進められますが、「道の駅」としての発展はどのように考えられているのでしょうか。隣町のファームテラスみのわが道の駅となると聞いていますので、競合すると何か新しい発想も必要ではないでしょうか。
- 議員の質問がいろいろな面に焦点を当てていて、村民にとってありがたいと思いますし、その答弁も未来を見据えたものとなっており期待される内容で、議会の運営がうまくなされていると思いました。
- P5の記事に“交通計画について”の“主な問題点”をわかりやすく挙げている記事があり、村の実情にあった地域公共交通計画となっていないともあります。なぜそうなっ

てしまったのかな？誰のためのものだったのかな？問題点を挙げているのに、原因解明現状改善にはどこかあいまいで、ズレが出てしまうのはもったいないように思います。（若い世代が増えても）高齢化はすすみ、交通難民がでないように熟慮をお願いいたします。議会だより 153 号の一般質問に対する回答の中にも、例えばベンチ設置や環境美化など様々な検討事案がたくさんあるようですが、上記のような問題の協議会の二の舞にならないように願うばかりです。

村への要望

- 老朽化した大芝の湯の改修についてはイラン情勢で延期になりましたが、大芝高原及び周辺施設は村民だけでなく、県内外の観光客にとっては評価の高いスポットなので、これからも村の観光資源としてどう活性化するか議論して頂きたいと思います。
- 上農高校交差点から同総会会館までの道は、車道としては整備されていますが、歩道がありません。ここ 4、5 年の間にも車の通行量が増大していることと、かなりスピードを出して通行する車が多くなっています。歩道がないために、保育園のお散歩、歩行者の皆さんは、車道を歩いておられますが、特に夜間は非常に危険な道路となっている感があります。事故が起こってからでは遅いかと思います。是非早急な整備をお願いしたいと思います。